



Rhaphisody

邦子

ラプソディー

狂詩曲

Report

03

禍福はあざなえる縄のごとし

向田邦子の男女の捉え方から探る稽古記録

向田邦子の “男女”の捉え方を探る

向田邦子の作品やエッセイ・対談など、どのような形式においても、人の機微や関係性がとても表現力豊かに描写されていることが感じられる。男女、家族、友人、はたまた物との関係まで。今回は、特に男女について着目し、時代背景なども鑑みながら向田邦子流の捉え方を身体表現へと繋げるための検討を行う。

一方で、「YouTube」「電子書籍」「サブスク」「TikTok」「コロナ禍」といった最近の時流に対して、向田さんだったらどのように考えるのかという対話も行われた。登場したての留守番電話を使いこなし、周囲の人々の不慣れな様子や面白い使い方をエッセイへ登場させる向田さんであるからきっと...と、エピソードを思い起こしながら理由を含めて語れることが多くあり、話題は絶えなかった。



禍福はあざなえる縄のごとし

1 ことわざを
ひっさつわざへ

古くから言い伝えられてきた、教訓
または風刺の意味を含んだ短い言葉
である「ことわざ」のなかで、“男女”
を表すものは意外と多い。そして、向
田邦子の作品やエッセイ・対談のなか
で“男女”について語られている
一文も印象的なものばかりである。
“男女”を表す一文を書き出し、ひとつ
ずつに動きを考えてみる。
短い言葉に込められた簡潔で極端な
意味を表現していくにつれ、身体の
キレも増していくように感じられた。
さながら必殺技のように、研ぎ澄ま
されたことわざと動きが蓄積される。

2 デュオ、パ・ド・ドウへ
落とし込む

“2人”または“男女”で踊ることを
意味するデュオ、パ・ド・ドウ。この
極意についての対話のなかで

- お互いが自由になることを目指す。
- お互いが対等な関係である。

ということが話に上がった。
今回においても、男女どちらも対等
であり、互いに身体で駆け引きをし
ている状態を保ちながら、①で蓄積
された要素をブラッシュアップして
いく稽古が続く。

